

20年度予算11件を可決 市職員の給与削減も

20年度予算議案

○財政の見通し

平成20年度予算の歳入は、地方交付税の削減に加え、個人・法人市民税などの市税収入が伸びず、一般財源総額は前年度よりも減少しています。歳出面では、人件費など義務的な経費の増大に加え、数多くの施設の維持管理経費の増加、また市債の償還がピークを迎え、三田市の財政は大変厳しい状況です。

○予算の概要

一般会計では、前年度に比べ2・3%増の345億7,500万円となっています。除くと、1・3%の減となっています。

特別会計では、国民健康保険事業など全8会計で総額174億3,720万円

そのため、一般会計において財政調整基金(市の財政に余裕がある時に積み立てをした基金)6億9千万円を取り崩すことにより歳入不足を補っています。

○審査の経過

各委員から、竹内市長になつてはじめての通年予算、特に「元氣なふるさと三田」の創出に向けた重点施策を中心に質問がありました。

○審議結果

予算特別委員会では、一般会計予算と国民健康保険事業及び後期高齢者医療事業特別会計予算の3議案については賛成多数で可決、他の6事業特別会計と市民病院事業・水道事業会計予算の8議案については全会一致で可決。本会議においても原案のとおり可決しました。

○主な質疑

一般会計 歳出

新規事業

市の新規事業は、一度はじけると、中断することが難しい。今後、例えば、1年試行、3年または5年と期限を決めて実施し、その時点で見直して、必要であれば再度実施するといった手法をとるべきではないか。

新規事業は、廃止することに関係者のかんりの抵抗があり、廃止が難しい。事業の成果を十分に検証し、ある程度目的が達成されたものは、思い切って、削っていくべきと考えている。

職員給与を、部長5%、課長4%、一般職員2%とそれぞれ削減した後の給与水準は、近隣市と比べてどうか。

人件費

19年4月段階での国家公務員の給与水準を100とした場合の三田市の給与水準(ラスパイス指数)は102で、これは、神戸市を除く県下28市中、上から3番目である。削減後は2・0以上の指数は下がると見込んでいる。

団体への補助金の見直し

団体への補助金については、事業の中断で判断するのではなく、団体そのものへ補助を続けていくことは市民から理解されにくい。団体補助の廃止・縮小をすべきではないか。

ごみの減量化と有料化

ごみ有料化とごみ減量化・資源化とは、並行して取り組んでいきたい。有料化については、グリーン・クリーン推進協議会グリーン部会の議論をもとに、有料化が本当に減量につながるのか、市民や議会とも相談しながら最終的に判断したい。

観光のまち

観光や自然をセールスポイントとして、観光客を増やすために、全国に発信できるまちづくりを市として考える必要があるのではないか。

その他の議案

一般職の給与の削減

市の厳しい財政状況を受け、20年4月1日から24年3月31日までの間、一般職の給与を部長級については5%、課長級については4%、課長補佐以下については2%をそれぞれ減額するものです。また、出張時に支給される旅費の日当について、いまままで1日につき3千円としていたものを、同じく20年4月1日から24年3月31日までの間、凍結します。

市民病院事業会計

医師などスタッフが不足する中、1,242万円もの費用をかけて本当に実現可能な経営健全化計画ができるのか。

委員の質問

4年間、給与を削減しても、市財政が厳しい状況から抜け出せない場合、それでも4年後に給与を元に戻すのか。

委員の質問

市が置かれている財政状況から、何もいまま今後4年間の財政収支を見通すと、58億円の不足が生じる。この不足額を解消するため、4年間で職員が1丸となつて改革に取り組んでいく。いままから約束などはあり得ない。

審議結果

総務財政常任委員会が全会一致、本会議においても全会一致で可決しました。

後期高齢者医療制度

本年4月から後期高齢者医療制度が実施されること

に伴い、市が行う後期高齢者医療の事務(保険料の徴収、各種届出・申請の受付・各種通知の引渡し等の窓口業務)について、必要な事項を定めるものです。

本年4月1日から施行したとして、「後期高齢者医療に関する条例」の制定について市長から提案され、福祉文教常任委員会に付託し、審査しました。

委員の質問

普通徴収の保険料の納期が7月～3月の9期になつているのはなぜか。

後期高齢者医療の保険料は、前年度の所得による算出となつており、所得の確定が6月になる。国民健康保険と同じく9期になつており、県内すべての市町で同じ方法である。

審議結果

福祉文教常任委員会が全会一致、本会議においては賛成多数で可決しました。

農業委員会委員

三田市農業委員会委員に

西浦道雄氏

石名田寛之氏

福山寛之氏

今井弘氏

の4名を議会から推薦しました。

人事案件

三田市教育委員会委員に

大澤洋一氏 (新任)

を任命することに同意しました。



▲予算特別委員会(3月17日～18日)

企業会計をみると、市民病院事業会計は、前年度に比べ11・5%減の100億6,018万円。水道事業会計は、前年度に比べ2・8%増の52億7,021万円となっています。以上、20年度の予算規模は総額673億4,259万円、19年度当初予算に